

組合だより

【 第330号 令和3年12月 日本羊腸輸入組合 】

理事会等

○11月10日(水) 第3回共通利益増進WG

第2回WG(9月1日開催)で設置し検討を進めることが決まった「資材購入等グループ」「利用探求グループ」「樽問題検討グループ」「衛生管理グループ」「SDGs推進グループ」の各検討状況について報告が行われました。

第4回WG(2月開催予定)に向け、事業化のための検討を継続することとしています。

事務局

○組合員関連

- ・天然腸輸入報告統計協力11社に対し、令和3年10月分の結果報告と令和3年11月分の報告依頼を行いました。

○関係機関関連

- ・農林水産省国際衛生対策室から、輸入検疫証明書発行の一時保留解除に関連する情報提供がありました。

○その他

- ・2022年版卓上カレンダーを発送しました。販売数は2021年版より若干減少しましたが、御購入に協力をいただきました組合員のみなさまに厚く御礼申し上げます。

統計

*統計の詳細は組合ホームページで御確認下さい。

【財務省貿易統計】

令和3年10月の天然ケーシング輸入量は、次のとおりです。

- ・総輸入量 381.6t(前月比+ 36.0t、110.4%/前年同月比+ 69.0t、122.1%)
- ・中国原産 166.5t(" △ 18.3t、90.1%/ " △ 20.9t、88.8%)
- ・豪州原産 62.4t(" + 22.7t、157.0%/ " △ 5.8t、91.6%)
- ・NZ原産 135.1t(" + 23.0t、120.5%/ " + 86.4t、277.8%)

【ソーセージ生産量（日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べ）】

令和3年10月のソーセージ生産量は、次のとおりです。

- ソーセージ類合計生産量 : 26,190.7 トン（前年同月比：94.1%）
 - ・ウィンナーソーセージ : 19,423.4 トン（ // : 90.5%）
 - ・フランクフルトソーセージ : 2,930.5 トン（ // : 114.0%）

HP更新内容（統計関係を除く）

*更新内容の詳細は組合ホームページで御確認下さい。

- 中国からの塩蔵天然ケーシングの輸入検疫証明書発行の一時保留解除について（動物検疫所からの通知）
- 自社管理施設における高濃度PCB廃棄物の保管等の確認と確実な処分手続きについて（経済産業省からの作業依頼）

参考情報・お知らせ

- 周知依頼：東日本大震災10年～復興へのあゆみシンポジウム in 東京

東日本大震災から10年が経過した今、改めて復興の現状と課題を知り、「私たちができることは何か」を考えるシンポジウム「～東日本大震災10年～復興へのあゆみシンポジウム in 東京」が開催されることとなりました。

パネルディスカッションでは、食の力で復興に取り組まれる魅力的な事業者の方や、人気モデル・女優のトリンドル玲奈さんが登壇します。

どなたでもオンライン視聴可能ですので、是非、御参加ください。（事前登録制になっておりますので、以下の応募フォームより応募してください。）

<開催日時>

2021年12月4日（土）14:00～16:00

<特設ページ>

<https://www.meti.go.jp/earthquake/symposium/index.html>

<応募フォーム>

<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/hukkou/2021/>

※応募締め切り：2021年12月3日（金）23:59まで

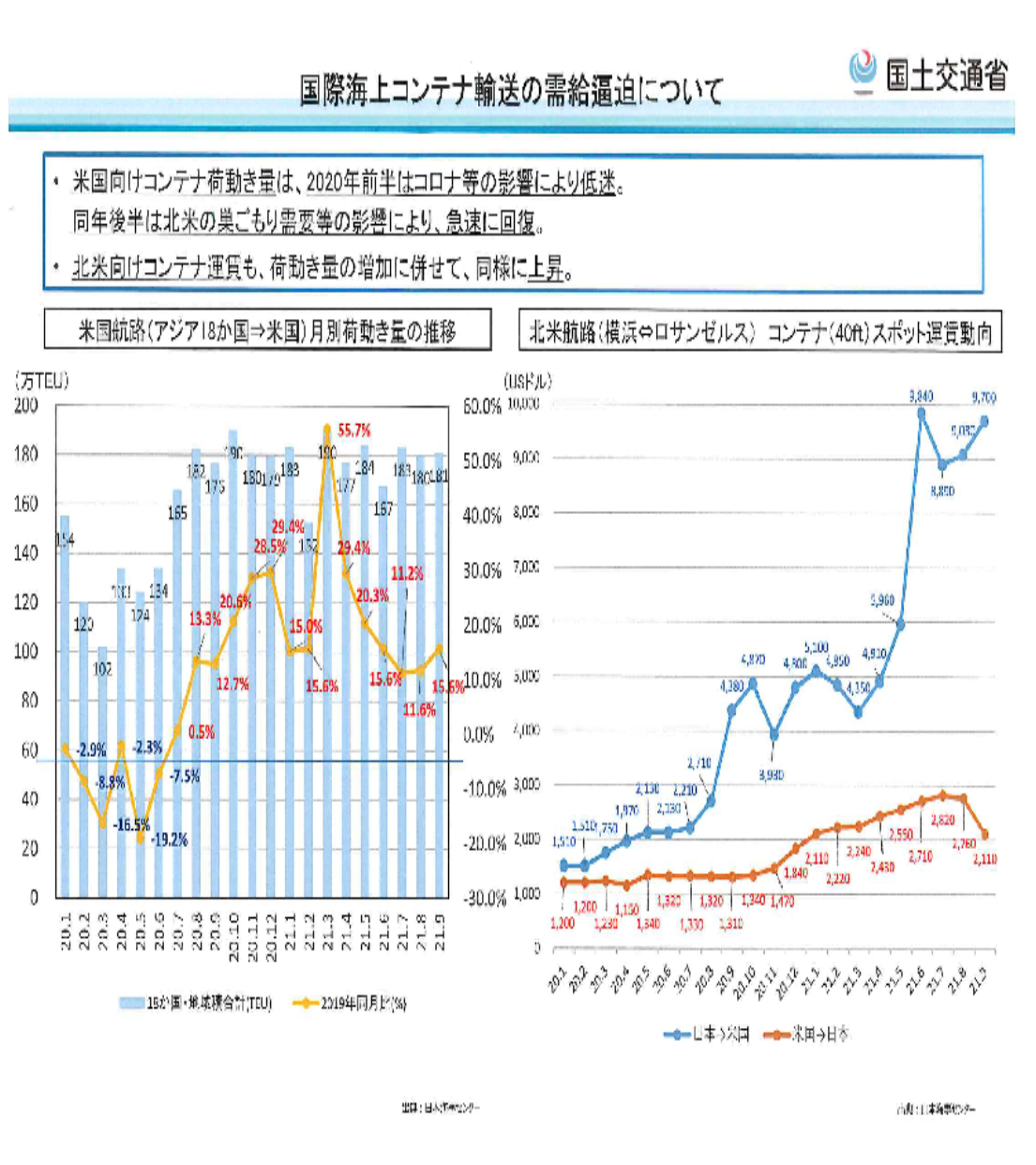
- 高濃度PCB廃棄物に関する環境省・経済産業省からのお願い（再掲）

ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法（平成13年法律第65号）は、特殊会社である中間貯蔵・環境安全事業株式会社（以下「JESCO」という。）の処理施設ごとに定める計画的処理完了期限の1年前を処分期間の末日として規定しています。北九州・大阪事業地域の変圧器・

コンデンサー等並びに北九州・大阪・豊田事業地域の安定器及び汚染物等については既に処分期間が到来しており、残りの事業地域についても、今年度末に変圧器・コンデンサー等について、来年度末に安定器及び汚染物等について、それぞれ処分期間が到来することとなります。

つきましては、自ら管理する施設において、高濃度 PCB 廃棄物の保管等をしていないかあらためて確認いただくとともに、保管等している場合は、確実かつ早期に JESCO に処分委託手続き等を行っていただくようお願いします。

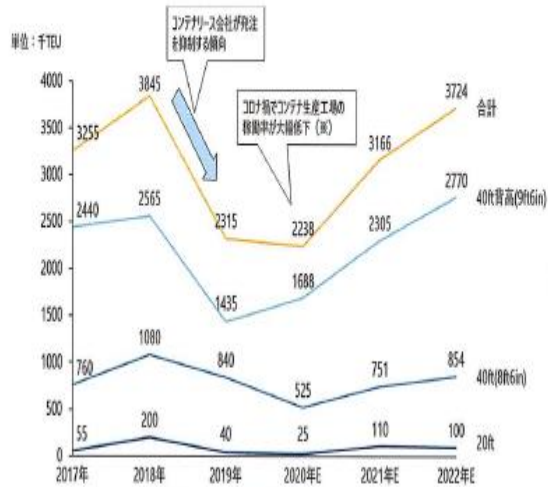
○11月17日開催の国土交通省「港湾分科会」資料の抜粋（参考）



国際海上コンテナ輸送の需給逼迫について

- 2019年～2020年前半にかけて、米中貿易摩擦やコロナによる先行き懸念の影響等により、中国におけるコンテナ製造量が低下。(現在は、船社は追加のコンテナを調達できている状況。)
- 北米航路、特にLA港、LB港といった北米西海岸の港湾において、取扱い可能な量を超える荷動き量の増加により、トラック・鉄道などの内陸輸送に混雑が発生し、貨物が滞留。結果、滞船が継続・悪化し、船舶の運航に遅延が生じている。

コンテナ生産量の推移



出所) 世界のコンテナ輸送と現状 2020年版 (日本郵船株式会社 調査グループ)
注) 世界のコンテナ生産量の約7割を占める中国工場が、COVID-19の影響で、2020年4月期のコンテナ生産量は前年同期比36%減(110万TEU)と減少したと見られる。

出典: 野村総合研究所調査資料

ロサンゼルス港の滞船状況



2021/3/24 撮影 LA港沖



出典: LA港管理者HP

今後の主な予定

令和4年

- 1月19日(水) 令和3年度第3回理事会
- 2月開催予定 第4回共通利益増進WG
- 3月16日(水) 令和3年度第4回理事会
- 4月20日(水) " 第5回理事会
- 5月27日(金) 第59回通常総会
- " 令和4年度第1回理事会

以上